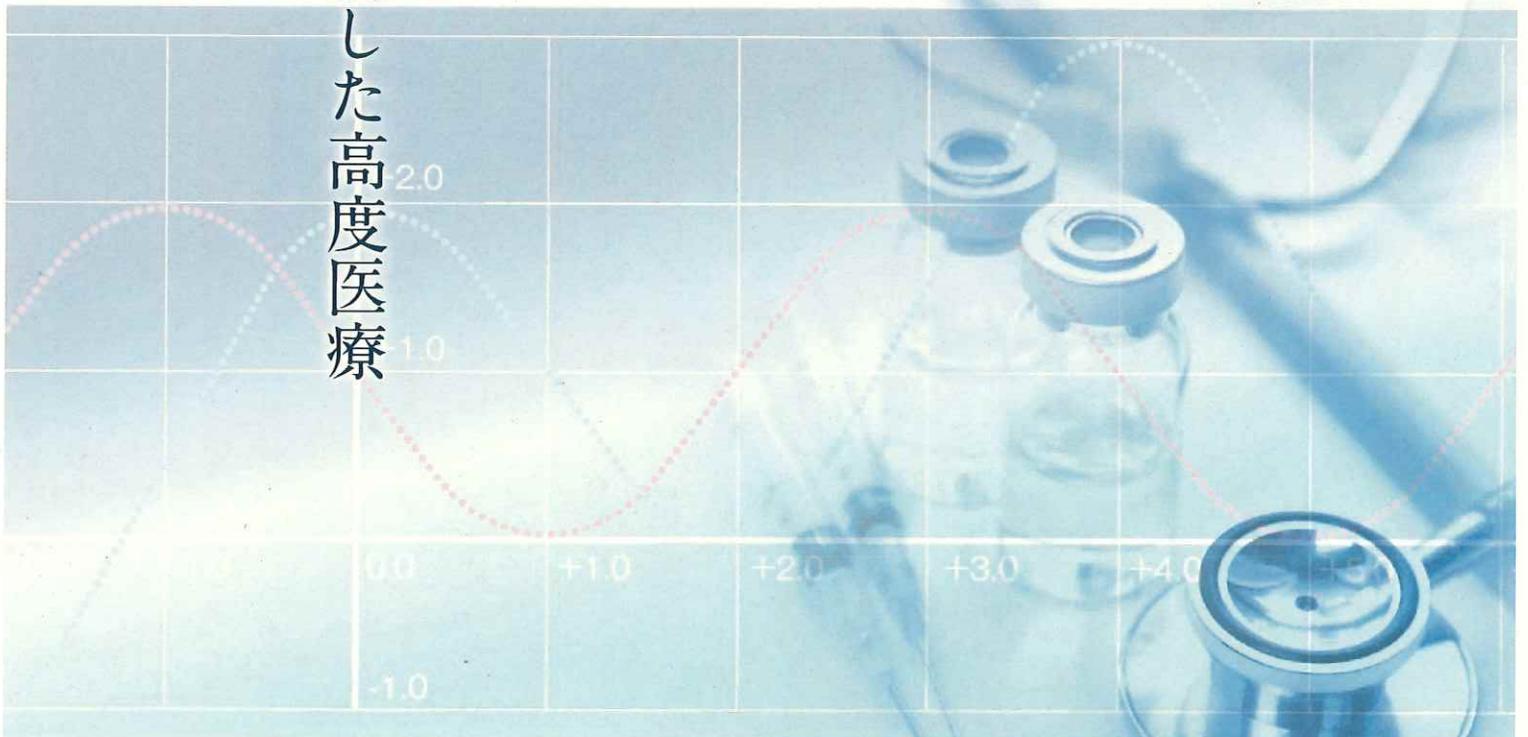


# 専攻医募集

地域と連携した高度医療



公立大学法人

福島県立医科大学附属病院

Fukushima Medical University Hospital



後期研修管理委員会委員長  
(福島県立医科大学附属病院長)

竹石 恭知

当院では、平成30年度からスタートした新たな専門研修において、19ある全ての基本領域で基幹施設としてプログラムを運用しておりますので、全ての基本領域で専門医を取得することが可能です。また、各プログラムでは、大学附属病院のほか、県内外の連携施設等と密に連携して研修を行うため、指導体制や専門医取得に必要な症例数の面でも充実した研修環境が整っており、各人にとって最適な研修計画を策定し、迅速に専門医資格が取得出来るよう配慮されています。

さらに、専攻医は、大学院・大学院研究生の併願が可能のため、安定した身分・処遇で働きながら、多くの専攻医が医学博士号(PhD)を並行して取得しています。このように、当院には、医師としての基礎を築く最適な研修プログラム、充実した施設・研修環境、優れた研究環境、優しく親身にサポートしてくれる先輩達が揃っており、優れたキャリアパスが創造できます。出身大学に関係なく、個々人の目標達成に向けて、スタッフ一同が全面的に支援しますので、多くの方に安心して当院での後期研修を選択していただき、専門研修プログラムにより目標とする専門医を着実に取得され、本県、そして世界でご活躍されますことを期待しております。



病院の特徴

健康を支え、心温まる医療を実践

本院は、医科大学附属の総合病院として、39診療科・778床の施設を有し、先進医療の充実や診療体制の整備に努めております。こうした中、1日の平均入院患者数588名(令和3年度)、1日の平均外来患者数は、1,529名(令和3年度・入院中外来受診者を除く)を数え、県民の皆さまに広く利用されております。附属病院ではこれからも地域を照らし、多様化する医療に対する県民の皆さまの期待に応えてまいります。

診療科目

循環器内科/血液内科/消化器内科/リウマチ・膠原病内科/腎臓・高血圧内科/糖尿病・内分泌代謝内科/脳神経内科/呼吸器内科/漢方内科/腫瘍内科/総合内科/呼吸器外科/消化管外科/肝胆膵・移植外科/乳腺外科/小児外科/甲状腺・内分泌外科/甲状腺・内分泌内科/心臓血管外科/脳神経外科/整形外科/形成外科/産科/婦人科/小児科/小児腫瘍内科/眼科/皮膚科/泌尿器科・副腎内分泌外科/耳鼻咽喉科・頭頸部外科/心身医療科/放射線科/放射線治療科/核医学科/麻酔・疼痛緩和科/病理診断科/歯科口腔外科/救急科/リハビリテーション科

【医師数】 658名(令和4年4月1日現在) 【一日平均入院患者数】 588件(令和3年度) 【一日平均外来患者数】 1,529件(令和3年度)

【救急車搬入患者数】 2,158名(令和3年度) 【ドクターヘリ出動件数】 323件(令和3年度) 【手術件数】 6,450件(令和3年度)

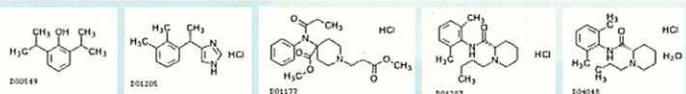
Topics

福島で経験しませんか？

覚醒下手術に対する麻酔管理の確立

脳外科手術は一般的に全身麻酔下で行われます。脳機能を監視するモニターは存在しますが、微細な運動機能や言語機能を全身麻酔中にモニターすることは不可能です。そのために開頭手術中に患者さんを覚醒させて発語や、手足を動かしてもらって確認する必要があります。これがいわゆる覚醒下手術です。実際、手術の最初から最後まで長時間覚醒してもらうのは患者さんは耐えられません。そのためモニタリングの時のみ覚醒してもらうのです。開頭状態での覚醒、抜管を行います。この覚醒時の開頭の痛みは頭部への神経ブロックで対処します。モニタリングが終われば、開頭状態のまま、再度全身麻酔に移行し気道確保を行います。不可能とされていた覚醒下手術が麻酔技術の革新にて今は可能になったのです。福島医大は覚醒下手術が精力的に行われていますが、我々の麻酔管理に負うところも多いと自負しています。

麻酔科学講座主任 教授 井上 聡己



【プロポフォール】 【デクスメデトミジン】 【レミフェンタニル】 【レボピバカイン】 【ロピバカイン】

〈図1〉覚醒下手術に使われる麻酔関連薬 超短時間作用性の麻薬や鎮静剤、長時間作用性の局所麻酔の開発が覚醒下麻酔の礎となっています。



〈図2〉覚醒下手術に使われる気道確保デバイス 声門上器具の開発改良が手術中の安全な麻酔→覚醒→麻酔を可能にしました。こういった器具の使用には熟練した手技が必要です。





### 大学院アドミッションポリシー

本医学研究科では、高い倫理観と豊かな人間性を備え、共に新しい医学を創造し、社会に貢献する次のような学生を求めています。

- ① 医学・医療に関する高度な専門的知識・技術の修得を目指す人
- ② 新たな分野に踏み込み、先駆的な研究活動を志す人
- ③ 地域の医学・医療水準の向上を目指し、指導的な役割を担おうとする人
- ④ 大学・研究機関の指導者、研究者として活躍する意欲を持つ人
- ⑤ 医学・医療の分野で、世界に飛躍しようとする熱意を持つ人

### 大学院医学研究科の概要

大学院医学研究科は、医学・医療の発展に自立して寄与することができる研究者及び専門職者を育成するとともに、新しい医学の創造を行うことを目的とします。

大学院では、先進的で高度な医療を実践できる医療人やこれらの医学・医療をリードする研究者を養成・確保しながら、優れた研究成果を県民医療に還元し、本県医療水準の向上と県民の健康増進に一層寄与できるよう、基礎医学と臨床医学の壁を越えた総合的・学際的な教育研究を推進します。



### 医学専攻 (博士課程) の概要 修業年数4年

本専攻では、医学部を卒業した学生を中心とし、医学部以外からの学生にも広く門戸を開放して医学を極めることを目的とすることから、専攻の名称を「医学専攻」(Graduate School of Medicine)とし、学位に付与する専攻分野も「医学」とします。

本博士課程に入学する学生は、入学時点で、高度医学研究者コースと専門医研究者コースのいずれかを選択します。

前者のコースは、医学研究者になることを目標とし、将来の医学を支え、新たな医学の創造ができるような人材の育成を目的とします。後者のコースでは、卒後臨床研修を終え、専門医研修を受ける学生を主な対象として、高度で専門的な臨床能力と、医療の現場から研究する能力を兼ね備えた臨床医を育成することを目的とし、そのために必要な科目を整備しています。

## Message

福島で研修しませんか？

### スキルを磨くプログラムが高次元で揃っています

医師としてのスキルを磨く最適なプログラム、充実した施設と研修・研究環境、優しく頼もしく熱心にご指導下さる上級医の先生方…福島医大には全てが高次元で揃っています。安定した待遇で大学院・大学院研究生として学べる魅力もあります。



診療科を選ぶ際は大いに悩みました。医師を志したきっかけは東日本大震災です。小児医療や周産期医療に携わりたいという希望も最後までありましたが、目の前の被災者を、いのちを、自らの手で救える医師になりたいという原点に戻り、救急医の道を選びました。

そして今、感じているのは、期待をはるかに上回る環境で日々研鑽させていただいているということです。どこにも負けないメリットがここにあります。



専攻医1年次(救急科) 関根 萌



# 専門医制度について

Fukushima Medical University Hospital

福島県立医科大学では、平成30年度からスタートした専門研修において、19全ての基本領域で、基幹施設として基本領域プログラムを運用しています。

当附属病院において専門研修を開始すれば、全ての基本領域・サブスペシャリティ領域の専門医を取得することができる予定です。

## 【サブスペシャリティ領域】〈3年間〉 ※最大2年間は基本領域と重複可

- 消化器内科(肝臓内科、消化器内視鏡) ●循環器内科 ●呼吸器内科 ●血液内科
- 内分泌代謝・糖尿病内科(内分泌代謝内科、糖尿病内科) ●脳神経内科
- 腎臓内科 ●膠原病・リウマチ内科 ●アレルギー ●感染症 ●老年科 ●腫瘍内科
- 消化器外科 ●呼吸器外科 ●心臓血管外科 ●小児外科 ●乳腺 ●内分泌外科
- 放射線治療 ●放射線診断 ●放射線カテーテル治療(認定予定)
- 集中治療(認定予定) ●脊椎脊髄外科(認定予定)

※その他の領域についても現在専門医機構で要件などを検討中

## 【基本領域専門医(19領域)】〈3~5年間〉

- 内科 ●外科 ●皮膚科 ●産婦人科 ●耳鼻咽喉科 ●脳神経外科 ●麻酔科
- 小児科 ●精神科 ●整形外科 ●眼科 ●泌尿器科 ●放射線科 ●救急科
- リハビリテーション科 ●形成外科 ●病理 ●臨床検査 ●総合診療科

※日本専門医機構において、基本領域19専門医制度とサブスペシャリティ領域23専門医制度が認定されていますが、この図のサブスペシャリティ領域は最終決定しているものではありません。

## 【臨床研修】〈2年間〉

### 【サブスペ連動研修】

〈卒後年数〉	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
標準タイプ			専門医研修(基板領域)			サブスペ専門医研修			
サブスペシャリティ連動(重点)タイプ			専門医研修						
			サブスペ専門医研修						
			専門医研修						
				サブスペ専門医研修					

基盤領域とサブスペの連動



### 1 応募資格

#### (1) 医師

医師法第16条の2第1項に規定する2年間の臨床研修を修了または令和4年度までに修了予定の方

#### (2) 歯科医師

歯科医師法第16条の2第1項に規定する1年間の臨床研修を含め、2年間の歯科医師臨床研修を修了または令和4年度までに修了予定の方

※過年度に卒後臨床研修を修了された方の中途編入制度もあります。

### 2 募集人員

90名程度(研修協力病院での採用枠を含む。)

### 3 研修期間

3~5年以内(研修協力病院での研修期間を含む。)とします。原則として研修期間のうち1年以上は、当院において研修を行います。

### 4 処遇

#### (1) 当院

- ① 身分: 専攻医(卒後臨床研修修了後4年経過した方は病院助手)
- ② 職務: 病院における診療業務の他に、臨床研修医の指導補助
- ③ 勤務日数: 月17日以内
- ④ 給与: 月17日勤務で、月額35万円程度になります。
  - a. 給料日額: 15,400円
  - b. 通勤手当
  - c. 超過勤務手当
  - d. 宿日直手当(1回当たり21,000円)

※その他各種業務手当もあります。  
※勤務日以外は一般病院での医療支援(いわゆるアルバイト)が可能です。

- ⑤ 有給休暇: 10日間(1年目)
- ⑥ 各種保険完備: 健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険
- ⑦ 託児所: 24時間保育所を完備・病児病後児保育所も有り

#### (2) 研修協力病院

身分・給与等は、各病院の定めるところによります。

### 5 応募手続

#### (1) 募集期間(一次募集) ※予定

令和4年9月1日(木)~令和4年12月9日(金)【必着】

#### (2) 応募書類

次の書類を、下記の提出先へ、郵送(書留郵便)、またはご持参ください。

- ① 令和5年度福島県立医科大学附属病院後期研修願書 [様式1-1]、又は[様式1-2]
- ② 履歴書[様式2]  
(写真3x4cm、無帽、正面向きとし、3カ月以内に撮影したものを貼付)
- ③ 医師免許証または歯科医師免許証の写し  
※当院で卒後臨床研修を行っている方は、提出不要です。

#### 【注意事項】

- ① 願書、履歴書の氏名、生年月日は戸籍のとおり正確に記載してください。署名、押印もれのないように注意してください。
- ② 願書に記入した現住所に変更があった場合、ただちにご連絡ください。

#### (3) 専攻医登録システムへの登録

新制度へ応募する場合は、上記(2)の書類に加え、(一社)日本専門医機構(以下「機構」という。)が定める期間(※未定)内に、専攻を希望する基本領域学会(総合診療は機構)のホームページを通じて、専攻医登録システムにより、希望するプログラムへ登録してください。

### 6 選考方法

- (1) 各プログラム責任者等が選考面接を行い、各プログラム研修管理委員会の審議を経て合否が判定されます。
- (2) 選考結果は、(一社)日本専門医機構が運用する専攻医登録システムを通じて本人宛に通知されます。

### ◎ 病院見学のご案内

#### ■ 当院では、病院見学を随時受け付けています。

県外臨床研修病院に勤務している臨床研修医を対象として、旅費の助成を行っています。

◎ 福島県立医科大学附属病院 後期研修ホームページ  
<https://www.fmu.ac.jp/home/anzen/kouki/>



提出先  
お問合せ先

## 福島県立医科大学附属病院

臨床医学教育研修センター 後期研修担当 石田

〒960-1295 福島市光が丘1番地 Tel.024-547-1713(直通) Fax.024-547-1715  
E-mail: cmecd@fmu.ac.jp